

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-103	小学校	体育	保健	5・6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	保健・502	たのしい保健 5・6年		

I 編修の基本方針

保健の学習は、毎日の生活を健康に、安全に、楽しく過ごし、生涯にわたって楽しく明るい生活を送る力を育てる学習です。大日本図書の新しい「たのしい保健 5・6年」では、**児童のたしかな「生きる力」を育むこと**を目指し、編修しました。

1. 「生きる力」が身につく教科書

主体的・対話的で深い学びを通して、児童が「生きる力」を身につけることができるように構成しました。

2. 学びやすく、教えやすい教科書

児童の興味・関心を引き出し、スムーズに学習に入ることができるように構成しました。学習の流れがひと目でわかり、学びやすく、教えやすい誌面になるように工夫しています。

健康は、夢を叶える力になります。
この教科書を通し、自分の健康や安全について考えることで、よりよい人生の創り手となる力が育まれることを願っています。



1 「生きる力」が身につく教科書

主体的に学ぶ意欲を育む

児童一人ひとりが、身近な生活における健康や安全についての課題を自分のこととして捉え、自ら学習に取り組むことができるように編修しました。



地域にあるさまざまな取り組みを知ることで、健康や安全について、自分に身近なこととして関心を高められるようにしました。

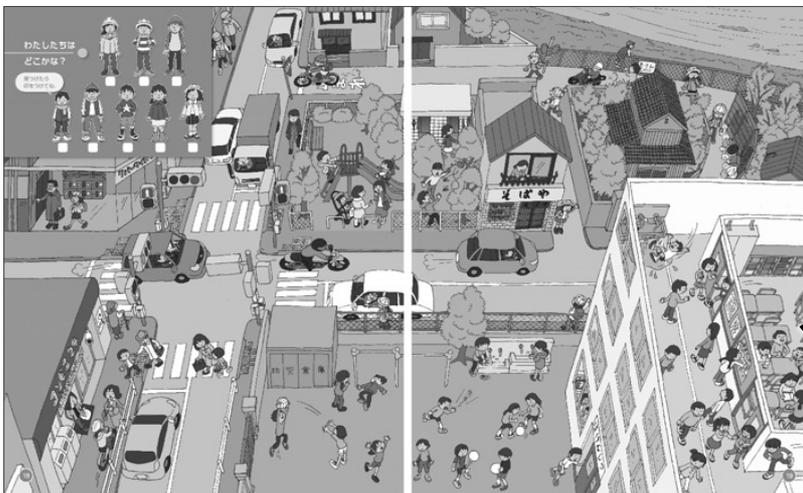


章のはじめに、その章の学習内容をイメージできる写真を示すことで、児童が親しみをもって学習に取り組むことができるようにしています。



学習内容を自分に身近なこととして捉えることができるよう、児童にとって身近で考えやすい問いを導入の活動として示しています。

p.8



すべての章のはじめに、「学習ゲーム」を掲載しました。イラストからキャラクターを探すなかで、自然と学習の課題に気づくことができるようになっていきます。

学習ゲームの場面を児童に身近な家庭・学校・地域にすることで、この章で学習することが、自分の生活にどのように関わっているのか知ることができるようにしました。

p.18~19

対話を通したさまざまな活動で、思考を広げて深める

学習のなかで仲間と話し合い、協力してよりよい解決策を見出したり、自分の思考を広げて深めたりする活動を設定しています。

p.29

話し合ってみよう

次のような場所で地震が起きたとき、それぞれ予測できる危険と、その危険から身を守るために取る行動について、話し合ってみましょう。

通学路では…
エレベーターでは…
海や川の近くでは…

ブロックベ이가たおれてきて危険。→へいからはなれる。

p.46

話し合ってみよう

たばこを吸っている人の近くにいると、体に変化が起こったことはありませんか。たばこのけむりによって、どのような変化が起こるのでしょうか。

たばこを吸ってはいけないうつが
ある場所が燃えてきたのはどうして
なのかな。

学習・経験したことなどの身近な題材から、思考を広げやすい問いを設定しています。また、思考・判断したことを伝え合うことによって、思考を広げ、深めることができます。

p.3

話し合い活動の進め方

考えがまとまらないときは、友達とおたがいの考えを伝え合い、よりよい考えにつなげていきましょう。

話し合いを始める前に
まず、自分の考えを書いてみましょう。どうしてそう思ったのかも書いておきましょう。

自分の考えを伝えるとき
はっきり、大きな声で伝えましょう。考えがいくつかある場合は、「まず」「次に」などの言葉を使ったり、わかりやすく、なぜそう思ったのかも伝えましょう。

発表のしかた
考えがまとまったら、みんなに伝えましょう。

友達の考えを聞くとき
最後まで聞き、なるほどと思ったことは、ノートに書いておきましょう。わからないことがあったら、質問してみましょう。

調べたことや話し合ったことを、ノートにまとめたり、表やグラフで表したりして、友達やほかのグループの人に発表しましょう。友達の考えと自分の考えを比べて、よりよい考えにつなげていきましょう。

よりよい話し合い活動を実現するため、巻頭に「話し合い活動の進め方」を新設しました。

学習したことを活用し、「深い学び」につなげる

学習したことを活用し、学びをより深める活動として、「活用して深めよう」を新設しました。学習したことを他の場面に応用したり、自分の生活に落とし込んだりして、「深い学び」につながるように構成しています。

活用して深めよう

下の①～③を確かめて、安全マップをつくりましょう。

学校の周りの安全マップ (活用範囲限定)

① 通学路の危険な場所
ものが落ちてきたり、たおれてきそうな場所など

② 災害時に役に立つ場所
消火器、公しゅう電話、ひなん場所など

③ 交通事故や犯罪被害などに関するヒヤリハット

家の人や
地いせいの人にも
教えてあげよう！

p.53

活用して深めよう

あなたの家では、これからどのように保健所や保健センターを活用できると思いますか。

家の人に、おうち
今まで利用した
地域の保健活動を
聞いてみよう。

学習内容を広げて深める資料を豊富に掲載しました。

p.54～55

もっと知りたい！

がんの予防

がんは、日本人の死亡原因の1位となっている病気です。がんは生活習慣と大きな関わりがあります。たばこや酒、運動不足、栄養不足などの生活を続けると、がんになる可能性が高まります。がんなどの病気について知り、健康や命の大切さについて、考えましょう。

★ 中学校2年の保健学習で詳しく学習します。

目的健康を守ろう

タブレットなどを使用するときは…

タブレットなどを使用するときは、姿勢を正しく保ち、目を休ませることが大切です。長時間使用すると、目の疲れや頭痛の原因になります。また、長時間使用すると、姿勢が悪くなり、肩こりや腰痛の原因になります。目を休ませるために、20分ごとに目を休ませ、遠くを見たり、目を閉じたりしましょう。

★ 中学校2年の保健学習で詳しく学習します。

たばこのけむりのおもな成分

たばこのけむりには、たばこを吸っている人が吸い込む有害物質と、たばこの灰から出る有害物質があります。

有害物質

ニコチン 依存性がある。がんの原因になる。

タール がんの原因になる。

一酸化炭素 酸素が不足する。

★ 中学校2年の保健学習で詳しく学習します。

オリンピック・パラリンピックとたばこ対策

国際オリンピック委員会 (IOC) は、世界保健機関 (WHO) とともに、「タバコのないオリンピック」を目指しています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでも、「スポーツの力による健康づくりの推進」として、たばこ対策の取り組みがあります。

健康や安全について調べよう

小学校5年の学習では、身近な生活における健康や安全について学習しました。中学校では、小学校で学習したことをもとに、健康や安全について、さらに詳しく学習します。

健康や安全についての情報は、保健の学習だけでなく、テレビや新聞、インターネットなどからも手に入れることができます。自らすすんで学習し、健康な生活を送りましょう。

★ [特別版] 2017年7月29日

交通事故小1突出

10月10日、東京都目黒区で、小1児童が歩道に横断歩道を渡ろうとしたとき、トラックに轢かれた。児童は重傷を負った。事故現場には、トラックの運転手が居た。児童は歩道に横断歩道を渡ろうとしたとき、トラックに轢かれた。児童は重傷を負った。事故現場には、トラックの運転手が居た。

★ [特別版] 2017年2月19日

★ [特別版] 2017年10月10日

児童の「もっと知りたい」気持ちに応えるために、章の終わりに、学習の助けとなる資料を豊富に用意しています。

p.10

ミニちしき

日本語には、さまざまな心と体の関係を表す言葉があります。例えば「むねをはずませる」には、「期待や喜び、希望などで心がウキウキすること」という意味があります。

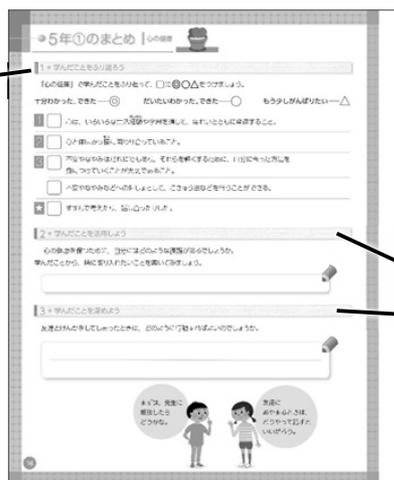
p.39

ミニちしき

くしゃみやせきをする時、しぶきとともに病原体が2m程度まで飛びます。くしゃみやせきが出ているときは、しぶきが飛ぶのを防ぐために、マスクをしましょう。

各章のまとめとして、「学習のまとめ」を新設しました。学習したことを振り返って自分を評価し、自分の課題を見つけていくことで、章全体を通した「深い学び」を実現します。

学習したことを振り返ることで、自分の課題発見につながります。



この章で学んだことから、自分の課題を発見し、これからの生活に活かしていく力を育む活動を設定しました。学習したことを自ら生活のなかで深めていけるよう、児童の生活に身近な活動を設定しています。学習したことを活用することで、より確かな知識にもつながります。

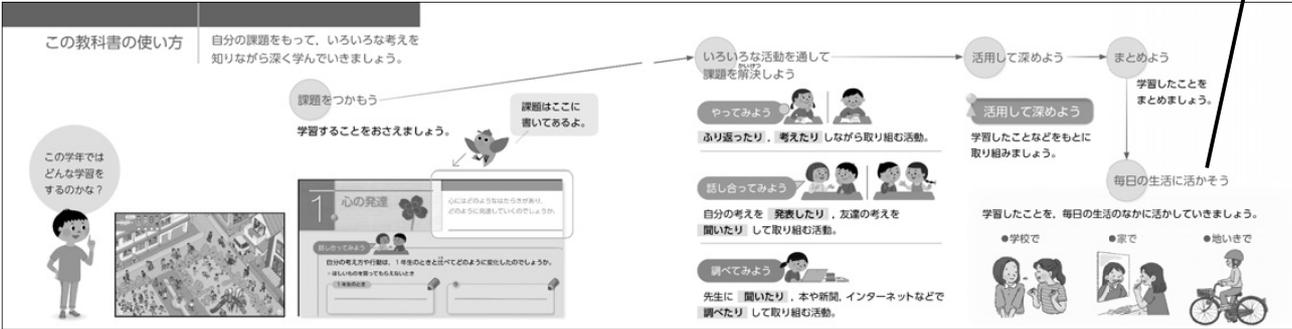
p.16

2 学びやすく、教えやすい教科書

児童が、保健の学習に興味・関心を持ち、見通しを持って学習を進めることができるように構成しました。教科書のサイズをA B判とし、大きい誌面で写真やイラストを効果的に配置することで児童の興味・関心を高め、学習内容がより伝わりやすくなっています。

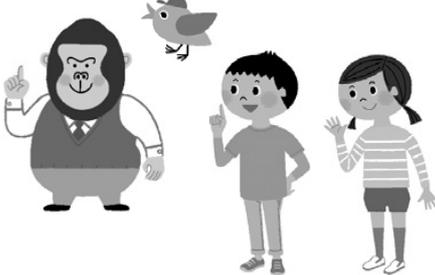
巻頭に「この教科書の使い方」を新設し、学習をスムーズに進めることができました。

授業で学ぶだけでなく、学んだことを毎日の生活に活かしていくことの大切さを理解できるようにしました。

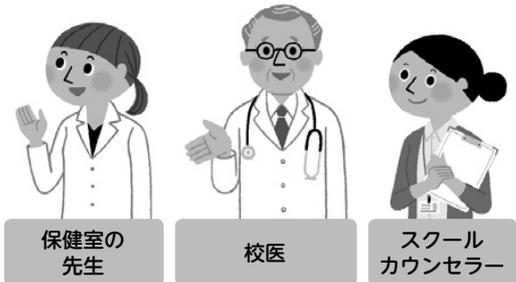


p.2~3

さまざまなキャラクターが学習をサポートします。



学習内容を補足したり、既習事項の振り返りをしたりすることで、児童の学習をサポートします。



保健室の先生などの専門家キャラクターが、専門的な知識や、生活に活かすためのアドバイスをします。

II 対照表

教育基本法の理念にそって、真理を追求し、豊かな人間性と創造性を身につけることができるように、次のような点に配慮して教科書を編修しました。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	目次	・目次ページでは、見通しをもって学習に取り組むことができるようにしました。(第一号)	表紙裏～p.1
	この教科書の使い方	・教科書をどのように使用するかを図で示し、学びをサポートしています。さらに、「調べ学習の進め方」、「話し合い活動の進め方」を説明し、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしています。(第一号)	p.2～3
	口絵	・地域にある健康や安全に関する取り組みを取り上げ、保健の学習内容が自分の生活に身近であることとして捉えられるようにしました。(第三号)	p.4
本編	各単元の構成	・課題を見つけて解決していく、課題解決的な学習が行えるような構成にしました。(第一号) ・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「保健の見方・考え方」をはたらかせて考える活動を多く設定しました。生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力が育まれることを目指しています。(第一号)	全体
	学習ゲーム	・学習ゲームを、全章で設定しました。キャラクターを探すなかで主体要因、環境要因に関わる、生活のなかでの課題が発見できるようにしています。(第四号)	p.6～7, 18～19, 34～35
	知識及び技能	・見開きごとに、本文で基本的な知識をまとめました。さらに、「資料」や「もっと知りたい！」などで知識を広げ、深めることができますようにしています。(第一号)	全体
	思考力、判断力、表現力等	・自分の生活と比較したり、よりよい解決方法を選択したりするなど、課題について思考・判断し、教科書に記入したり、友達と伝え合ったりして表現することで、よりよい解決方法につながり、学びが深まるような活動を設定しました。(第一、二、三号)	p.8, 12, 26, 28 ほか
	学びに向かう力、人間性等	・導入となる最初の活動では、児童に身近な題材を設定することにより、児童が学習内容を自分に身近なこととして捉えることができるようにしました。(第一号)	p.10, 12, 20, 36, 46ほか
	活用して深めよう	・学習したことを活用することで、学びを深め、今後の生活につなげていくことができるような活動を設定しました。(第一、二号)	p.13, 21, 29, 53 ほか
	ミニちしき	・児童の「そうなんだ！」の気持ちを大切に、学習内容に関連した情報を、本編の全ページで示しました。(第一号)	全体
	もっと知りたい！	・知識を広げ、深める資料を、わかりやすく示しました。オリンピック・パラリンピック教育、SNS、がん教育等、現代的な諸課題に対応しています。(第一～五号)	p.14～15, 54～55
	学習のまとめ	・章末に、知識の復習問題と活用問題を示した「学習のまとめ」を新設しました。章全体の知識及び技能について復習したり、学習したことを活用したりする活動によって、学びを深めます。(第一号)	p.16, 32, 56
	「おうち」「ちいき」マーク	・学習したことについて、家庭や地域で取り組みたい活動等に、「おうち」「ちいき」マークを示しました。(第二号)	p.23, 29, 53
巻末	はってん 「ともに生きる」	・[がん教育]について、発展として巻末に資料を掲載しました。病気などがあっても家族で支え合い、ともに生きていくことについて、大切に考える気持ちを育むことができます。(第二、四号)	p.57
その他	特別支援教育・ユニバーサルデザインに配慮した誌面構成	・専門家の監修のもと、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。(第一号)	全体
	デジタルコンテンツ	・学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、デジタルコンテンツを用意し、対応するページにマークを示しました。(第一、二号)	p.15, 31, 32, 37 ほか

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-103	小学校	体育	保健	5・6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	保健・502	たのしい保健 5・6年		

I 編修上特に意を用いた点や特色

1 「技能」を身につけることができる教科書

学習指導要領の保健領域に新しく追加された「技能」について、確実に習得することができるように編修しました。不安や悩みなどへの対処（呼吸法、体ほぐしの運動）、けがの手当について、実習の活動を設定しています。



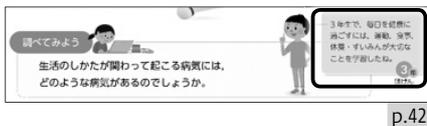
体ほぐし運動の例として、プログラミング思考につながる運動を設定しました。

2 学年・教科横断、家庭・地域との連携につながる教科書

○他学年、他教科との関連

系統的な学びのために、学年・教科横断的な学習を充実させました。

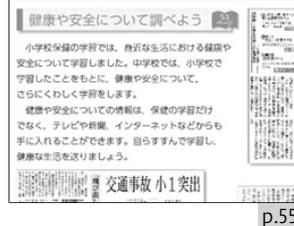
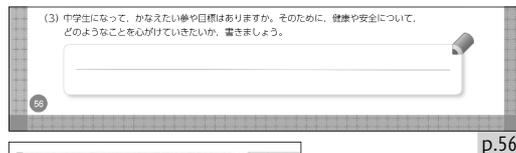
*教科内関連



*他教科関連



*中学校との接続



6年では、中学校の学習との接続を意識した資料や、活動を取り入れました。

○家庭・地域との連携

家庭・地域マークを新設し、家庭や地域における健康や安全について考える活動や、資料を掲載しました。



情報活用能力

健康や安全に関する情報を適切に収集し、活用する力を育むことができるように工夫しました。



巻頭では、調べ学習の方法を掲載しました。インターネットなどでの調べ学習における注意点などをわかりやすく説明しています。



大日本図書館のホームページ上で、学習に役立つ動画や資料を見ることができるようにし、該当箇所にウェブマークを示しました。



SNS等、インターネットによるトラブルを防ぐために必要なことについて、資料を掲載しました。ほかにも、SNSを通じた友達とのコミュニケーションで気をつけることについて、資料を掲載しています。

外国語教育

イラストの随所に英語を取り入れることで、日常生活のなかにある英語に気づくことができるようにしました。



異文化理解

外国の文化を紹介したり、イラストで外国にルーツのある人を登場させたりしました。

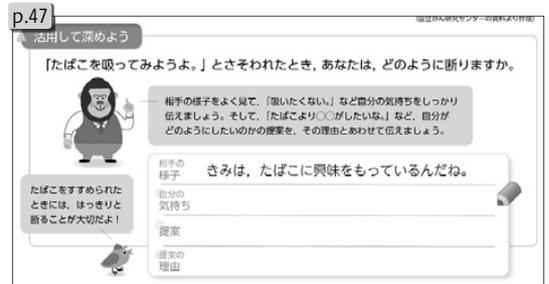
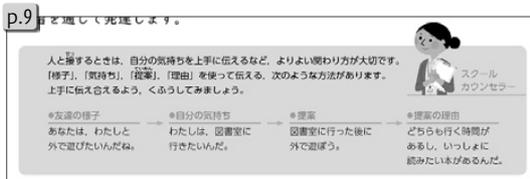


その他

- ・多様性の尊重 (LGBT 等) などの現代的な諸課題について、配慮して編修しました。
- ・総則編に示されている、「現代的な諸課題に関する教科横断的な教育内容についての参考資料」について十分に配慮しています。

5 ライフスキルが身につく教科書

日々の生活で起こる人間関係や心の健康などの問題に積極的に対処できるライフスキルが身につくようにしています。



6 特別支援教育やユニバーサルデザインへ配慮した教科書

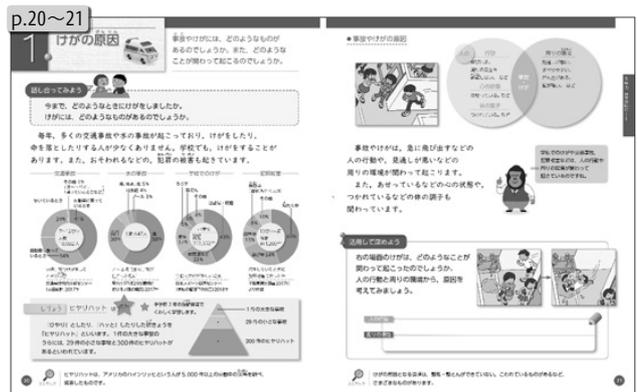
専門家の監修のもと、だれにでも使いやすい教科書を目指し、配慮して編修しました。

- 全面的な UD フォントの使用
本文や吹き出し、ルビなどに、見やすく、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。特に本文で使用する教科書体は、デジタル教科書でも読みやすい書体を採用しました。



- カラーユニバーサルデザイン
色覚の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮しました。

- 読みやすい位置での改行
単語の途中で改行せず、読みやすい位置で改行するようにしました。
- インデックス・ページ番号
ページ番号やインデックスを単元のカラーで統一し、単元毎のまとまりがわかりやすくなるようにしました。



教科書の特徴

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第1条に示された「教育の目的」を実現するために、同2条の「教育の目標」の達成を目指して編修しました。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の保健領域に記載された項目を全て取り上げました。
主体的・対話的で深い学びへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての章で、自らの課題を発見し、主体的に取り組み、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて深めていく活動等を通じて、深い学びが実現できるように配慮しました。(p.12～13, 26～27ほか)
知識及び技能の習得	<ul style="list-style-type: none"> ・章の終わりに、知識及び技能を定着させるための問題を設定しました。(p.16, 32, 56) ・「心の健康」の不安や悩みへの対処の方法、「けがの防止」のけがの手当の方法などについて、技能を習得するための活動を設定しています。(p.13, 31)
思考力、判断力、表現力等の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体で、課題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮しました。 ・課題を発見する活動、課題を解決する活動、学習したことを活かす活動など、様々な活動により、思考力、判断力、表現力等が総合的に育成できるようにしています。(p.10, 21, 31ほか) ・友達と伝え合ったり、教科書に記入したりすることで、自分の言葉として表す表現力が育成できるようにしています。(p.9, 23, 47ほか)
学びに向かう力、人間性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・口絵では、児童が保健を学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるようにしました。(p.4) ・導入の活動では、児童に身近な題材を取り上げることで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるようにしました。(p.8, 20, 36ほか)
現代的な諸課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・現代的な諸課題として、オリンピック・パラリンピック教育、防災教育、キャリア教育、がん教育、情報活用能力などに配慮しました。(p.3, 13, 27, 54ほか)
評価への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・活動には記入欄を多く設定し、評価に活用できるようにしました。(p.8, 9, 21, 22ほか) ・章の終わりに、「学習のまとめ」として自己評価問題や活用問題を設定し、評価に活用できるようにしました。(p.16, 32, 56)
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列を組みました。 ・単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過多にならないよう、発達段階と学年に応じて精選しました。 ・単元内の活動は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるように配慮しました。
特別支援、ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の監修のもと、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインをふまえた配色を工夫したりするなど、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮しました。
家庭・地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域において保健で学習したことを活用できるよう、該当箇所「おうち」「ちいき」マークを新設しました。(p.23, 29, 53ほか)
ICT教育への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・無料のデジタルコンテンツを豊富に用意し、対応するページにマークを示しました。(p.15, 31, 46ほか) ・情報活用能力、プログラミング教育に対応した活動や資料を設けました。(p.2, 14, 27ほか)
道徳教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重、個性の伸長、家族愛、国際理解など、道徳教育との関連に配慮しました。(p.15, 57ほか)
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、理科など、他教科に関連した題材を適宜扱うとともに、関連していることについてマークで示しました。(p.9, 45ほか)
印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した紙と植物油インキを使用しています。表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工しました。 ・製本は児童にとって安全で、奥までよく開くアジロ綴じを採用しています。

II 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当ページ	配当時数
5年	1 心の健康	(1)ア (ア), (イ), (ウ), イ	5~7, 14~16	全3時間
	(1)心の発達	(1)ア (ア), イ, 内容の取扱い(9)	8~9	1
	(2)心と体のつながり	(1)ア (イ), イ, 内容の取扱い(9)	10~11	1
	(3)不安やなやみがあるとき	(1)ア (ウ), イ, 内容の取扱い(2), (9)	12~13	1
	2 けがの防止	(2)ア (ア), (イ), イ	17~19, 32	全5時間
	(1)けがの原因	(2)ア (ア), イ	20~21	1
	(2)交通事故によるけがの防止	(2)ア (ア), イ	22~23	1
	(3)身の回りで起こるけがの防止	(2)ア (ア), イ	24~25	1
	(4)犯罪被害から身を守る	(2)ア (ア), イ	26~27	1
	☆自然災害から身を守る (発展的な学習内容)	(2)ア (ア), イ)	28~29	(1)
(5)けがの手当	(2)ア (イ), イ, 内容の取扱い(7)	30~31	1	
6年	3 病気の予防	(3)ア (ア), (イ), (ウ), (エ), (オ), イ	33~35, 54~56	全8時間
	(1)病気の起こり方	(3)ア (ア), イ, 内容の取扱い(9)	36~37	1
	(2)病原体と病気の予防	(3)ア (イ), イ, 内容の取扱い(7), (9)	38~41	1
	(3)生活のしかたと病気の予防①	(3)ア (ウ), イ, 内容の取扱い(9)	42~43	1
	(4)生活のしかたと病気の予防②	(3)ア (ウ), イ	44~45	1
	(5)たばこの害と健康	(3)ア (エ), イ	46~47	1
	(6)飲酒の害と健康	(3)ア (エ), イ	48~49	1
	(7)薬物乱用の害と健康	(3)ア (エ), イ, 内容の取扱い(8)	50~51	1
(8)地域で行われている保健活動	(3)ア (オ), イ	52~53	1	
発展	ともに生きる		57	

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-103	小学校	体育	保健	5・6学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
4・大日本	保健・502	たのしい保健 5・6年		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
20	ヒヤリハット	1	(2)ア (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因とな って起こるけがの防止には、周囲の危険に気付く こと、的確な判断の下に安全に行動すること、 環境を安全に整えることが必要であること。	0.25
27	インターネットのトラブルに まきこまれないために	1	(2)ア (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因とな って起こるけがの防止には、周囲の危険に気づく こと、的確な判断の下に安全に行動すること、 環境を安全に整えることが必要であること。	0.25
28～29	自然災害から身を守る	1	(2)ア (ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因とな って起こるけがの防止には、周囲の危険に気づく こと、的確な判断の下に安全に行動すること、 環境を安全に整えることが必要であること。	2
30	AED	1	(2)ア (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要が あること。	0.25
31	熱中症	1	(2)ア (イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要が あること。	0.25
41	いろいろな病気と病原体	1	(3)ア (イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防に は、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に 対する体の抵抗力を高めることが必要であるこ と。	0.25
51	医薬品	1	(3)ア (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損 なう原因となること。	0.25
54	がんの予防	1	(3)ア (ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起 こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏り のない食事をとること、口腔の衛生を保つこと など、望ましい生活習慣を身につける必要があ ること。	0.25
54	たばこのけむりのおもな成分	1	(3)ア (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損 なう原因となること。	0.25
55	オリンピック・パラリンピッ クとたばこ対策	1	(3)ア (エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損 なう原因となること。	0.25

57	ともに生きる	1	(3)ア(ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身につける必要があること。 内容の取扱い(7) けがや病気からの回復についても触れるものとする。	1
			合計	5.25

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容
(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容